

佐賀県告示第百十六号

佐賀県財務規則に基づく予算に関する書類の様式の決定（平成十八年佐賀県告示第二百五十三号）の一部を次のように改正し、平成二十四年四月一日から施行する。

平成二十四年三月三十日

佐賀県知事 古 川 康

様式第二号から様式第七号までを次のように改める。

歳出予算配当通知書

年度 () 歳出予算を次のとおり配当します。

本庁等の各課(かい)の長様

佐賀県知事

枚目

年度		会計名			科目名	予算額 円	配当済額 円	今回配当額 円	配当額累計 円	摘要
科目・事項コード					科目名	予算額 円	配当済額 円	今回配当額 円	配当額累計 円	摘要
款	項目	事項	細事項	節 細節						

歳出予算再配当通知書

年度歳出予算を次のとおり再配当します。

本庁等の各課（かい）の長様

本庁等の各課（かい）の長

年度	会計名	繰越区分

枚目

科目・事項コード					科目名	今回再配当額 円	再配当額累計 円	摘要
款	項目	事項	細事項	節 細節				

再配当通知書番号

様式第4号

歳 出 予 算 流 用 計 算 書

処理日 年 月 日 ページ

	所 属	年 度	会 計 コード・会 計 名	繰越区分
帳票コード				

予 算 流 用 額									

本庁等の各課(かい)の長

点検者	記入者

(単位：円)

科目・事項コード					科目名	議決予算額	配当予算額	予備費充用額 及び予算流用 済額	計 B+C (D)	支出負担行為額			差引額 D-E (F)	流 用 額		付 記	
款	項	目	事項	細事項						節	細節	支出負担 行為額		支出負担行 為見込額	計 (E)		増
						(A)	(B)	(C)	(D)			(E)	(F)				
(予算流用理由)																	

- 注 1 予算流用済額(C)中流用減額は、マイナス表示をすること。
- 2 差引額(F)中不足額及び流用減額は、マイナス表示をすること。
- 3 付記欄には、何費から 円又は何費へ 円等流用先を明記すること。
- 4 予算流用理由は、科目ごとに詳細に記載すること。
- 5 予算流用計算書1件ごとに何起案書を付し決裁を受けること。
- 6 明許繰越額の予算流用については、繰越額を議決予算額欄に記載すること。

歳出予算流用書

年度歳出予算を下記のとおり流用しました。

第 号

年 月 日

経営支援本部長 様

本庁等の各課(かい)の長

予 算 流 用 額		年 度	会 計 名			繰 越 区 分			
		年 度							枚目
科目・事項コード					科 目 名	今 回 予 算 流 用 額		予 算 現 計 額 (円)	適 要
款	項	目	事 項	細 事 項		増 (円)	減 (円)		

流用番号

予 備 費 充 用 要 求 書

課(かい)名

予備費充用要求額 円

内 訳

(単位：円)

科目・事項コード							予 算 額 (A)	支 出 負 担 行 為 額			支出負担行為 予 定 額 (C)	合 計 B+C (D)	予備費充用 要 求 額 A-D	付 記
款	項	目	事項	細事項	節	細節		支出済額	支 払 額	計 (B)				
(予備費充用理由)														

- 注 1 予備費充用理由は、具体的事項について詳細に記載すること。
 2 要求書には、予算見積書に準ずる必要な資料を添付すること。

予 備 費 充 用 通 知 書

年度 歳出予算の予備費を充用しました。

本庁等の各課（かい）の長 様

経営支援本部長

年 度	会 計 名	繰 越 区 分

枚目

科目・事項コード					科 目 名	今回予備費充用額 (円)	予 算 現 計 額 (円)	摘要
款	項 目	事 項	細 事 項	節 細 節				

予備費充用番号

様式第九号を次のように改める。

様式第9号
第1表

年 度 継 続 費 繰 越 計 算 書

課(かい)名

(単位:円)

款項目	事業名	継続費支出予算現額			支 出 及 済 び 出 額 支 額 支 見 込 額 (B)	翌年度 繰越額 (C)	不用額 (D)	(C) の 財 源 内 訳						備考	
		予 算 計上額	前年度 繰越額	計 (A)				繰越金	国 庫 支出金	負担金	寄附金	財産 収入	計		

第2表

年 度 繰 越 額 の 内 訳

(単位：円)

款 項	目	繰 越 額	各 目 明 細		
			節	金 額	付 記